

2020年12月28日

親鴨会 2020年12月メッセージ「年末挨拶」

振り返れば、コロナに振り回された一年でした。武漢でのコロナ発症をテレビニュースで遠くの出来事として聞いていたのも束の間でした。不要不急の外出を控え、三密を回避、外出時のマスク着用、リモートによる会議開催など、日常生活も様変わりとなりました。

親鴨会も本部・各地区の総会をはじめとして、予定していたほとんどの行事を中止するに至りました。ただ、昨年から実施した「天城セミナー」は「オンライン版天城セミナー2020」と題して11月22日(日)のオープニングから12月12日(土)のクロージングまで、多くのOB/OGに参加いただきました。また、山口さん、福地さんをはじめ、多くの現役の皆さんからの話を聞いたことはリモートの良さだったと思います。そうした、プラス面を見つけながら前向きに過ごしていこうと考えています。

まだまだコロナ禍での生活が続きます。健康に留意され、年末をお過ごしください。

私は年末恒例の年越し蕎麦を打って、今年一年の感謝と令和三年が落ち着いた年になる事を祈りつつ年を越そうと思います。皆様も良いお年をお迎えください。

親鴨会会長
内池 正名